

2017 年 9 月 29 日
 カブドットコム証券株式会社
 (コード番号: 8703 東証1部)
 代表執行役社長 齋藤 正勝

kabu.com APIとKDDIのIoT技術の連動による「株価連動LEDセンサー」をCEATECに出展
 ～ 株価変動を IoT でコントロールされた LED ライトで表現、よりスマートな金融情報の可能性を提示～

カブドットコム証券株式会社は、2017 年 10 月 3 日(火)～6 日(金)、幕張メッセ(千葉県千葉市)で開催されるアジア最大級の規模を誇る IT 技術とエレクトロニクスの国際展示会「CEATEC JAPAN 2017」に、kabu.com API と KDDI 株式会社(以下、KDDI)の IoT 技術の連動による「株価連動 LED センサー」をはじめとする当社の Fintech 関連の最新ソリューションを出展いたします。金融機関関係者のみならず、多くの一般来場者に当社の最新の取り組みに触れていただく機会として、CEATEC「IoT タウン」の三菱 UFJ フィナンシャル・グループのブースにてご案内してまいります。

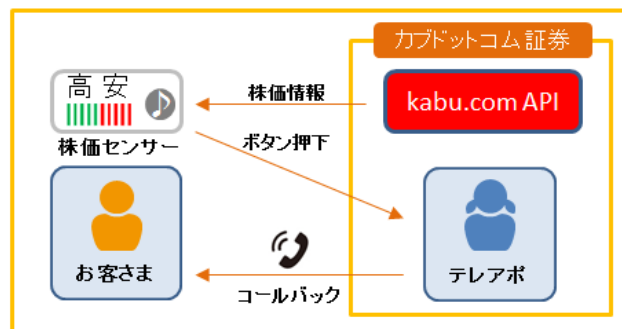
当社は、今後も異業種間でのシナジーを追求したサービス開発をスピーディに実現できる kabu.com API を活用し、KDDI をはじめとする様々な企業との連携によるオープンイノベーションの推進により、金融サービスの高度化を実現してまいります。

● 「株価連動 LED センサー」について

「株価連動 LED センサー」は、kabu.com API と KDDI の最先端 IoT サービスを重ね合わせた PoC (proof of concept) の成果として、LED ライトの表示色等と日経平均株価等の株価情報をリアルタイムで連動させ、本日のマーケットの状況をシンプルにひと目で伝達することを目的に実用化を目指しております。

KDDI は、様々な業種のお客さまに、機器と無線通信デバイスを組み合わせたサービスを 20 年近く提供してきました。LPWA などの無線通信技術のみならず、データを蓄積・分析・活用するプラットフォームなど、複数のソリューションをワンストップで提供しています。

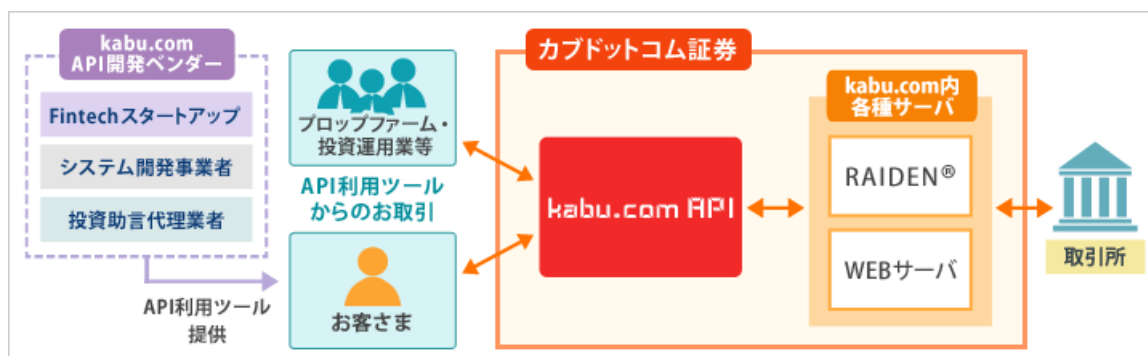
IoT は産業の枠を超えた広がりを見せており、異なる業種との連携や、各業種におけるサービスの充実・相乗効果を促すものとなっています。本展示も、カブドットコム証券と KDDI という異業種が連携し、開発を行っています。



● 金融サービスのオープンイノベーションの推進基盤としての kabu.com API

当社は、世界的な金融サービスの構造変化・Fintech の進展の流れに先駆け、2012 年から株式・先物・オプション取引に対応した API(Application Programming Interface)環境として kabu.com API の提供しております。kabu.com API は、発注系、注文照会、残高照会、リアルタイム時価情報など、従来は証券会社ツールを介さなければ得られなかった情報を API として提供することによりリリース以降、プロップファーム、投資助言事業者、取引ツール開発業者、ロボアドバイザー運営業者、ゲーム開発業者までさまざまな業種の事業者様に活用いただいております。

(kabu.com API の概要イメージ)



● 証券基幹システムとフロントレイヤーのアンバンドリング化によりスピーディな協業を実現

kabu.com API は従来の証券会社が担っていた機能・サービスの提供主体をアンバンドリング化※することにより、証券サービス全体の高付加価値化を目指す取り組みです。kabu.comAPI を活用することにより、サードパーティは、証券基幹システムに属する部分(複雑な金融法令諸規則に基づく顧客プロパティ管理、勘定系の余力計算、銘柄管理、情報配信基盤、有価証券と金銭の受渡処理等)については当社の基盤を利用しつつ、UX(ユーザーエクスペリエンス)等のフロントレイヤー部分については事業者様の技術・サービスアイデアの実装にリソースを集中することが出来るため、高度な金融サービスをスピーディに開発・提供していくことが可能となります。

● 「MUFG{APIs}」

2017年5月26日「銀行法等の一部を改正する法律」が成立しました。改正銀行法は、電子決済等代行業制度を創設し、Fintech スタートアップとの協業によるオープンイノベーションを推進する前提条件を整えるものです。これに先駆け、2017年3月に株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ(以下、MUFG)は、銀行サービスのAPI公開を含むAPIプログラム「MUFG{APIs}」を対外公表しております。MUFGのオンライン専業証券である当社は、この「MUFG{APIs}」プロジェクトに参画しており、API連携によるグループ金融機関とのサービス協業やFintech スタートアップ金融機関と技術的な連携を深めることにより、積極的にオープンイノベーションの推進に向けた取り組みを行ってまいります。



※本文中に記載されている会社名、商品名、アプリケーションおよびロゴは、各社の登録商標または商標である場合があります。

● KDDI との協業について

当社は、2016年8月より、「auスマートパス」ユーザー向けの現物株式手数料割引プラン「auで株式割」を提供しております。「auで株式割」は、カブドットコム証券の取引アプリ「kabu.com for au」からの注文について、現物株式売買手数料が一律1%割引となるものです。三菱UFJフィナンシャル・グループの一員であるカブドットコム証券は、三菱UFJフィナンシャル・グループとKDDIが設立した株式会社じぶん銀行と2015年12月より、金融商品仲介サービスにおける業務提携をしております。今後も両社の協業を進展させることでモバイルの利便性と金融サービスを組み合わせることにより「貯蓄から資産形成へ」の一層の進展に貢献していきます。

●証券投資は、価格の変動、金利の変動、為替の変動等により投資元本を割り込む恐れがあります。自動売買を含むすべてのご注文は、必ず約定するものではありません。お取引の際は、目論見書、約款・規程集及び契約締結前交付書面等をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等をよくご理解の上、ご自身のご判断で無理のない資産運用を行ってください。

●当社お取扱商品の手数料等およびリスクの詳細については、契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、目論見書、約款・規定集および当社ホームページの「ご投資にかかる手数料等およびリスクについて」(<http://kabu.com/company/pressrelease/info/escapeclause.html>)等をよくお読みの上、投資の最終決定はご自身のご判断とご責任で行なってください。

●掲載情報は2017年9月29日現在のものです。詳細および最新情報は当社ホームページ(<http://kabu.com/>)にてご確認ください。

●お問い合わせ・ご相談・苦情等

お客様サポートセンター フリーコール 0120-390-390

※携帯・PHS・050 で始まる IP 電話からは 03-6688-8888 (※通話料は有料になります)

●苦情について当社以外の窓口

特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター フリーダイヤル 0120-64-5005

カブドットコム証券株式会社

【金融商品取引業者登録: 関東財務局長(金商)第61号】

【銀行代理業許可: 関東財務局長(銀代)第8号】

【加入協会: 日本証券業協会・一般社団法人 金融先物取引業協会】

＜本件に関する報道関係からのお問い合わせ先＞

担当: 経営管理部 広報担当 大西 勝二 TEL: 03-3551-5111

わたしたちは MUFG です。